

第6期（2019年3月期）決算公告

2019年6月26日

東京都品川区西品川一丁目1番1号
住友不動産大崎ガーデンタワー
株 式 会 社 ア ト ラ ス
代表取締役社長 野本 章

第 6 期 事 業 概 況

自 2018 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日

事業の経過及びその成果、事業の状況

エンタテインメントコンテンツ事業を取り巻く環境としては、デジタルゲーム分野において、高い製品クオリティに加え、有力 IP を活用したタイトルが上位を占めるなど、競争環境はより激しさを増しております。パッケージゲーム分野におきましては、家庭用ゲーム機市場において、現世代ゲーム機の普及が進んだことから、主に欧米においてゲームソフトの販売市場拡大に期待が高まっております。また、PC 向けゲーム市場では、Steam 等のゲーム配信プラットフォームの拡大傾向が続いております。

このような経営環境のもと、当社は主力パッケージゲームタイトルの発売、ライセンス他事業に注力し、業績は好調に推移しました。

パッケージゲーム事業においては

◇ペルソナ3 ダンシング・ムーンナイト

◇ペルソナ5 ダンシング・スターナイト

◇世界樹の迷宮X (クロス)

◇ペルソナQ2 ニュー シネマ ラビリンス

◇キャサリン・フルボディ

◇十三機兵防衛圏 Music and Art Clips (十三機兵防衛圏プロローグ付き)

を発売し、販売数は好調、加えて作品のクオリティへの高い評価をいただきました。特に国内はもとより、欧米・アジア市場において販売計画を大きく上回り、当社の海外売上シェアが大幅に拡大しました。

ライセンス他事業においては、制作委員会方式によるTVアニメ「ペルソナ5」全28話（特番含む）を2018年4月～9月、及び同年12月、19年3月にてテレビ放映、ネット配信を行いました。また、他社の有力なソーシャルゲームタイトルと当社のIPとの大型コラボレーションを数多くプロデュースし、好評を博しています。

また、当社の中期経営計画に沿い、「新規IP（Intellectual Property:キャラクターなどの知的財産）の創出・育成」のため、新規IPに専念する新しい組織にて引き続き開発を行い順調に推移しております。

加えて、セガサミーグループ内のシナジー効果の方針のもと、2018年9月に世田谷区三軒茶屋から品川区西品川へオフィスを移転し、就業環境、福利厚生 of 刷新をおこないました。

このような事業活動の結果、当社単体の事業計画上の目標数値を大きく上回り、グループへの利益貢献を果たすことができました。

一方で、当社単体の損益は、平成25年11月の株式会社インデックスから株式会社セガドリーム（現当社）への事業譲渡に起因し発生した営業権を毎期償却しているなどの影響もあり、2019年3月期は損失計上しておりますが、セガサミーグループの連結決算におきまして収益面で大きく寄与しております。またバランスシートでは、自己資本比率が90.5%、流動比率が592.0%と財務面の健全性も高い水準を維持しております。

今後もお客様の喜んでいただけるゲームタイトルを開発し、グループ業績にも貢献し続けていくことが当社の使命だと考えております。

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,697,065	流動負債	962,312
現金及び預金	119,230	買掛金	67,797
売掛金	108,335	未払金	1,036
仕掛品	3,821,327	未払費用	286,827
未収入金	138,010	未払法人税等	128
前払費用	20,203	預り金	51,852
関係会社預け金	1,471,580	賞与引当金	209,070
その他	18,378	前受金	345,600
固定資産	5,187,842	固定負債	74,239
有形固定資産	274,836	資産除去債務	66,821
建物	251,543	繰延税金負債	7,418
工具器具及び備品	23,293		
無形固定資産	4,842,340	負債合計	1,036,552
ソフトウェア	2,081	(純資産の部)	
のれん	4,840,258	株主資本	9,848,355
投資その他の資産	70,665	資本金	10,000
敷金及び保証金	6,746	利益剰余金	9,838,355
繰延税金資産	63,919	利益準備金	2,500
		その他利益剰余金	9,835,855
		繰越利益剰余金	9,835,855
		(うち当期純損失)	(904,144)
		純資産合計	9,848,355
資産合計	10,884,907	負債・純資産合計	10,884,907

株主資本等変動計算書

自 2018年4月 1日

至 2019年3月31日

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
			繰越利益剰余金			
前期末残高	10,000	-	12,039,999	12,039,999	12,049,999	12,049,999
当事業年度変動額						
剰余金の配当	-	-	△ 1,300,000	△ 1,300,000	△ 1,300,000	△ 1,300,000
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立て		2,500		2,500	2,500	2,500
当期純利益	-	-	△904,144	△904,144	△904,144	△904,144
当事業年度変動額合計	-	2,500	△2,204,144	△2,201,644	△2,201,644	△2,201,644
当期末残高	10,000	2,500	9,835,855	9,838,355	9,848,355	9,848,355

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間である 5 年間の定額法によっております。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

のれんは、効果の発現する期間を合理的に見積もり、その年数である 10 年間の定額法により償却を行っております。

(4) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額の当事業年度の負担額を計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(6) 連結納税制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を連結親法人とした連結納税制度を適用しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 表示方法の変更に関する注記

(貸借対照表)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第 28 号平成 30 年 2 月 16 日)に伴う、「会社法施行規則及び会社計算規則の一部を改正する省令」(法務省令第 5 号平成 30 年 3 月 26 日)を当事業年度から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数

種 類	発行済株式の数(株)
普 通 株 式	10
計	10

(2) 配当に関する事項

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当財産の種類	配当財産の帳簿価格	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2019年1月31日 臨時株主総会	普通株式	子会社株式	1,300百万円	130百万円	2019年 1月31日	2019年 1月31日

4. 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. その他の注記

該当事項はありません。

以上